

通級指導教室【サポートルーム 『えがお』】のお知らせ



沼田市立薄根小学校

【「通級指導教室」って？】

薄根小学校では、29年度より通級指導教室『サポートルーム えがお』が新たに開設されました。「通級指導教室」では、学校生活を送る上で何らかの「困り感」のある子どもへの支援や学習（自立活動）をおこなっています（詳しくは以下をごらんください）。日常の学校生活のほとんどを通常の学級で過ごししながら、その子の「困り感」に応じてさまざまなタイプの特別な支援をしていきます。



【支援の対象となる子どもは？】

「通級指導教室」の対象となるのは、主に下に示すような子どもたちだとされています。基本的な学校生活を通常の学級で過ごしながら、一部特別な支援が必要だと考えられる子どもたちです。特に医師の診断等を受けている必要はありません。下に示すような特徴があり、そのことが**学校での生活（学習や友だち関係等々）の「困り感」**につながっているかどうか重要なポイントになります。子ども本人が「困り感」を感じていることもありますし、保護者の方や先生、周りの友だちが「困り感」を感じていることもあります。その「困り感」を詳しく調べた上で、必要な支援のあり方を考えていきます。



【具体的な困り感の状態は？】

- 全般的な知的発達に大きな遅れはないものの、聞く、話す、読む、書く、計算する、推論するなどの能力のうちある領域のものを身に付けたり使ったりすることが、特に苦手な状態。
- 年齢または他の領域の発達から考えられる以上に注意力が散漫だったり、衝動的に行動したり、体が常に動いていたりし、そのことが社会的な活動や学習に支障をきたしている状態。
- 主として心理的な理由から、特定の場所では話ができない、特定の動きや音声を繰り返すなどの行動上の問題がある状態。
- 人との社会的関係を作ることが難しいこと、ことばの発達が遅れていること、興味や関心が狭いことなど、行動上に問題のある状態。

【お気軽にご相談を】

通級による個別の指導（支援）でおこなう『自立活動』の学習や、アセスメント（実態把握）は、原則的に保護者の方の希望や要請があり、校内特別支援委員会にて審議をして、沼田市教育支援委員会の承認を経て始まります。まずはお試しでという要望にもお応えしていますので、お気軽に相談ください。

入級とは別に、日常の学校や家庭での、学習や生活をする上で気になることがありましたら、保護者の相談の窓口としてもご利用可能なので、随時受け付けています。

「通級指導教室」担当・特別支援教育コーディネーターに直接お問い合わせください。



通級指導教室サポートルーム『えがお』入級の流れ

☆本人や保護者からの困り感



担任・担当・コーディネーターへ相談・面談



☆保護者との面談

(どのような困り感があるのかうかがいます)
困り感に対してどんな支援ができるか話し合います



☆担当による観察・参観、お試し通級

(何が原因で困り感があるか? どんな支援が適切か? 個別の指導計画を作成します)



☆市教育委員会へ「開始届」を提出(学校がすべておこないます)

※義務教育なので教育課程を変更する手続きが必要です



☆市教育支援委員会で承認(学校がすべておこないます)



☆正式に入級

※保護者は面談をする程度で、特に手続きはありません。

薄根小学校サポートルーム『えがお』

薄根小学校特別支援教育コーディネーター

七五三木

幸世

Tel: 22-2891

